

Okaeri Hoikushi

おかえり保育士



東京都は、
変えていく。
保育士を、
一生の仕事へ。

続けたいのに、続けられない。
保育士のそんな悩みが消えないかぎり、
保育士不足という、この国の問題が消えることはない。
だからいま、改めて、東京都は向き合います。
「保育士は、一生の仕事」。そう思い直せるような
仕組みを、考え、整えていきます。まずは、
結婚や出産などのライフイベントによって、
保育士を退職された方へ。
保育所とのマッチングサポートや、
復職時の経済的支援、キャリア支援などを用意しました。
私たちの取り組みがもっともっと広がれば、
保育士という仕事に、幸せな「ただいま」が
きっと増えていく。そう信じていま、
あなたに呼びかける東京都です。

保育士の復職を応援！ 東京都のサポート制度

保育士を「一生の仕事」へ変えていく。
そう決意する東京都は、みなさんの復職を全面的にサポートしていきます。

1

仕事のお悩み相談 および 就職 マッチングサポート

こんな方におススメ

- ・復職したい気持ちはあるけれど、家庭と両立できるイメージがもてません。
- ・復職したいけれど、就職活動のやり方がわかりません。
- ・ブランクが長くて不安です。
- ・資格はもっているけれど、保育所での勤務経験がなくて不安です。



保育所への就職支援 (マッチング)

保育士資格をもち、保育現場で働いた経験のある保育人材コーディネーターが、みなさんのご希望の勤務条件に近い保育所を探します。また、就職活動についてもアドバイスを行います。

希望条件で保育所とマッチング # 叶えたいのは理想の働き方

就職支援研修・就職相談会

保育の仕事希望される方向けのプログラムです。現役の園長・保育士の話や、就職活動のポイントをまとめた講義に加え、都内保育所との就職相談会を行います。

今の保育現場のリアルを知りたい # 上手な就職活動のやり方

就職支援セミナー (復職のための知識・技術回復支援)

保育所を退職してからブランクの長い方や、保育士資格はもっているけれど保育所で働いたことのない方向けのプログラムです。専門職としての知識・技術の回復を目的に、講義および保育所での実習を行います。

万全の状態での復職したい # まずはじっくりリハビリ

保育人材 コーディネーターによる 相談支援

保育士資格をもち、保育現場で働いた経験のある保育人材コーディネーターが、保育の仕事に関するさまざまなご相談にのります。どんなに些細なことでもお気軽にご相談ください。

お悩み解決 # 保育士資格がなくても大丈夫

ご相談支援や就職支援セミナー情報などの詳細は
WEBページ(東京都保育人材・保育所支援センター)にも掲載しています。

<https://www.tcs.w.tvac.or.jp/jinzai/hoiku/>



2

復職時の経済的サポート

こんな方におススメ

- ・就職活動って出費が重なるので、家計への負担が心配です。
- ・まだ子供が小さいので、復職するなら保育所やベビーシッターを利用しなければなりません、利用料金がかかりますよね。



再就職支援資金

都内の保育所などに再就職が決定した方を対象に、就職に伴う引越し費用、通勤用自転車や仕事で使う被服の購入費といった、就職に向けた準備に必要な資金を無利子でお貸しします。

家計の負担を軽減 # 安心して就職活動

貸付上限額

40万円以内[※]

未就学児をもつ 保育士への 復帰支援資金

小学校入学前のお子さまを保育所などに預けて、都内の保育所などに就職した方や、産後休暇・育児休業から復職する方を対象に、保育料の一部を無利子でお貸しします。

家計の負担を軽減 # 安心して復職できる

貸付上限額

保育料の半額
(月額 27,000円以内)[※]

未就学児をもつ 保育士の子供の 預かり支援資金

小学校入学前のお子さまを保育所などに預けて、都内の保育所などに勤務する方のうち、朝番や夜番など保育所の預かり時間外のシフトに入る方を対象に、ファミリー・サポート・センター事業やベビーシッターなどを利用する際の利用料金の一部を無利子でお貸しします。

家計の負担を軽減 # わが子のことも安心できる

貸付上限額

利用料金の半額
(年額 123,000円以内)[※]

※貸付や返済免除に関する条件など、資金貸付制度の詳細は
WEBページ(東京都社会福祉協議会)にも掲載しています。

<https://www.tcs.w.tvac.or.jp/jinzai/indexShikin.html>



3

復職後のキャリア および 経済的サポート

こんな方におススメ

- ・復職時に引越しが必要となりますが、負担が大きく現実的に考えられません。
- ・保育士は命を預かる仕事。給与は責任の重さに合っているのでしょうか。
- ・保育士のキャリア形成を考えてくれる職場であるのでしょうか。

保育士への住宅提供

保育士などが入居するための住宅の借上げを行う保育所を対象に、最大82,000円／月を基準として、家賃の一部を補助しています。

- # 家賃の負担を軽減
- # 転居が伴う場合も安心

例 保育所が、保育従事職員用に80,000円／月のアパートを借上げた場合
→ 区市町村から保育所に **70,000円／月の補助**

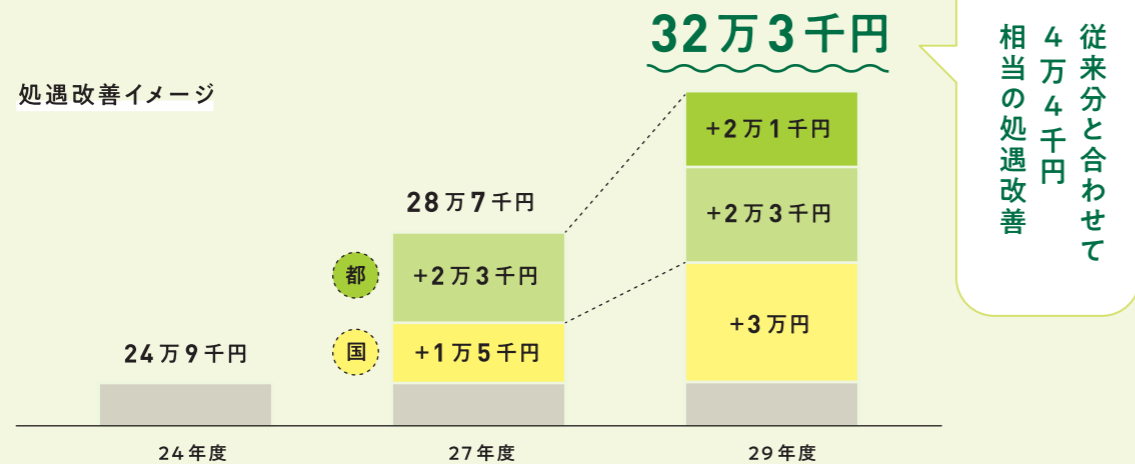
キャリアアップ補助

キャリアアップや処遇改善に取り組む保育所を対象に、独自の補助金を出すことで、職員の給与アップなどを支援します。

- # 専門性を高めて成長したい
- # 給与アップでモチベーションもアップ

参考

処遇改善イメージ



これらの制度の利用対象は保育所になりますが、このような制度を利用し、保育士のキャリアアップや処遇改善（給与などのアップ）、経済的支援に取り組む保育所も増えています。

住宅提供やキャリアアップ補助の詳細はWEBページ（東京都福祉保健局）にも掲載しています。

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kodomo/hoiku/jinzaikakuho_torikumi.html



キャリアアップ研修

保育現場におけるリーダー的職員を育成するため、国のガイドラインに基づいて、乳児保育や障害児保育などの専門分野別の研修やマネジメントを学ぶ研修を実施しています。都内の認可保育所等にお勤めの研修対象者の方は、無償で受講することができます。研修修了者の情報は東京都が管理しており、勤務先に変更があっても、その情報は継続されます。

- # 専門性を高めて成長したい
- # 保育士のキャリアアップ

キャリアアップ研修の詳細はWEBページ（東京都福祉保健局）にも掲載しています。
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kodomo/hoiku/careerup-kensyu.html>



保育人材育成研修

保育所や区市町村などが実施する研修のほか、東京都も各種研修を実施し、専門性の向上をサポートしています。

認証保育所中堅保育士研修

認証保育所において、中核的な役割を果たすことが期待される方を対象に、保育に関する資質の向上および施設長を補佐する能力の向上を目的とする研修を実施しています。

認可外保育施設職員テーマ別研修

認可外保育施設で勤務されている方を対象に、資質の向上を目的とするテーマ別の研修を実施しています。

病児・病後児保育研修

病児・病後児保育施設で勤務されている方を対象に、資質の向上を目的とする現任研修を実施しています。

- # 専門性を高めて成長したい
- # 保育士のキャリアアップ

保育人材育成研修の詳細はWEBページ（東京都福祉保健財団）にも掲載しています。
<http://www.fukushizaidan.jp/106hoikujinzai/>



このほかにも、さまざまなサポートを行っています。

詳しい情報はこちらにも掲載しています。

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kodomo/hoiku/jinzaikakuho_torikumi.html



ひとりでは出会えなかった、
ぴったりの場所へ。



平井明日香さん

Manamana 保育室 ※2018年12月現在

自身の弟が通っていた保育園のイベントへ一緒に参加するうちに、保育士の仕事に興味を持ち始める。理想は、多くの子供に好かれる保育士になること。

2011

九州の保育園で、
保育士として
働き始める

2016

結婚を機に
上京・退職

2016

東京で復職し、
Manamana 保育室へ

元々は九州で、保育士をしていました。結婚を機に、夫の住む東京へ。仕事自体は好きだったので、少し生活が落ち着けば、東京でも同じく保育士として仕事を探すつもりでいました。しかし、その段階で大きな挫折をする事になったんです。ハローワークに通って、最初はほとんど自力で保育園を探していました。パソコンの画面と、向き合い続ける日々。働く場所には、いくつか迷っているポイントがありました。前に勤めていた保育園よりも小規模の保育園で、子供ともっと深く関われないだろうか。公立保育園と私立保育園はどちらがいいのか。職場の人間関係はどうだろう。検索して出てくる情報の中だけでは、私

の知りたいポイントがわからず、調べるほどに、どこで働くのがいいのかわからなくなってしまいました。引っ越してきたばかりで、相談できるような友人もいない。不安は募り、気持ちは暗くなり、家の中でふさぎ込む日もあったと思います。もうダメかも、と思っていたとき、ハローワークで紹介されたのが、保育人材コーディネーターの方でした。そこからは、不思議なくらいトントン拍子。面談から、1週間もしないうちに希望に合う保育園を紹介してもらい、即、園に電話。翌日に面接も決まり、慌てて履歴書を準備して、面接に行ったらすっかり気に入って、気づけばその場で「ここに決めました!」と宣言し

ていました。誰かの力を適切に借りるって、自分だけじゃとどり着けない正解を出せることなんですね。保育士って、やっぱり大変な仕事だと思います。夜遅くなってしまうことや家に仕事を持ち帰ること、職場内や保護者の方との関係性。過去にいろんな経験をし、いろいろ考えることはありました。周りでも、結婚や出産後、続けられなくなっている人を見ている。それでも私は、悩んでいる人には続けてほしいと思うし、自分も続けたいです。子供の成長に寄り添える、そしてその分、じつは自分自身も成長している。そんなやりがいのある仕事をできているんだってことが、今の私の誇りです。

家族の声

これからも
自分の信念を
貫いて。

上京したてのころは、慣れない場所での暮らしにストレスを感じてい
るだろうと思っていたので、復職したいと相談をされたときには少し安
心しました。そして家ではいつも、仕事の話聞かせてくれる。保育が
好きで、いつも子供を最優先に頑張っているのだからと、想像させてく
れます。苦勞することもあるだろうけど、これからも自分の信念を貫き
ながら、自分らしい保育の道を歩んでほしいですね。



子育ての経験が、
保育士の私を育ててくれた。



近藤景子さん

三軒茶屋えほん保育園 ※2018年12月現在

最初は保育士以外の職に就いたものの、この仕事への興味から一念発起。転職と資格取得を果たし、子育て後、現在の職場に復職。

1998

保育園で
働きながら、
保育士の資格を
取得

2003

子育てのために
退職

2018

保育士として
復職し、
三軒茶屋
えほん保育園へ

保育士の資格をとるとき、この仕事は資格があればずっと続けられる仕事だし、続けたいと思っていました。だから妊娠・出産のために退職したときも、「いずれはこの仕事に戻ってよう」ということも、決めていたんです。その決意から、十数年。偶然目にした広告がきっかけで、東京都の保育士就職支援研修・相談会に参加しました。専業主婦からいきなりフルタイム勤務なんて、生活リズムが保てるかな。学校から帰った子供は、自分がなくて寂しくないかな。ブランクが長くて、職場には馴染めるかな。保育士としてもう一度働きたい気持ちもあったけれど、正直に言って、不安も非常に大きいもの

だったように思います。保育園で話を聴いたり、家族と相談したり。迷いもありながら、決意を固めていきました。現在、復職して半年が経ちますが、もう一度働きはじめて本当によかったと感じています。自分自身の子育て経験が、こんなに役に立つなんて。0歳児ってこういうのが好きだったなあと、こんなことに興味をもつよなあ、って思いつきながら。保護者の方や若手の保育士の相談にも、深く共感できたり、アドバイスをすることができたり。やりたかったことができている実感はもちろん、誰かのためになってい
ることも感じながら仕事できています。保育

士って子供を相手にする職業でありながら、他の保育士と連携もするし、保護者の方の相談も受ける。様々な人と接しながら、世界が広がる職業でもあるんですよ。勤務形態や時間、給与など、まだまだ解決しなくちゃいけないことはあって、不安に思う人は多いと思います。やりたい気持ちのために一歩踏み出す、その一歩がすごく大きく感じちゃう。そういう不安や悩みに私はすごく共感するし、みんなで助け合いながら解決していこうって思う。だから、昔の私のように、もし悩んでいる人がいるなら、ひとりでも多くの人に、一緒に踏み出してみようって、伝えたいです。

保育園の声

みんなの連携で、
現場は
変わってイける。

つねに予想できないことの起こる現場で、昔は長時間労働が当たり前のイメージがあった保育士の仕事。少しずつではありますが、変わってきたという実感があります。大切なのは、保育士同士の連携が上手く
いっている人、子供がまだ小さい人。ここには様々な保育士がいます。だからこそみんなが相談し合って、助け合って。もっとみんなが働きやすい場所を、みんなでつくっていったらいいですね。



あなたに「おかえり」を
言いたい人は、
あなたが思うより、
きっとたくさんいます。

あなたが、保育士の仕事に帰ってくる。
それはいまの社会にとって、とてもありがたいことです。
だからこそ、あなた自身にとっても、
きちんと幸せな出来事であってほしいと思います。
復職にあたっての不安を少しでも軽くし、
前向きに検討していただくために。
たとえば東京都保育人材・保育所支援センターでは、
保育人材コーディネーターによる
親身なアドバイスを行っています。
相談会などのイベントも開催しています。
制度についてサイトで詳しく調べていただくことも、
気軽に問い合わせさせていただくこともできます。
もう一度、保育士になる。そのことについての会話や行動が、
東京のあちこちで増えてほしいから。きっかけづくりを、
これからも東京都はがんばります。



どんな些細なご相談でもかまいません。

保育人材コーディネーターが

あなたのご相談にお答えします。

お電話でもご来所でも、お気軽にどうぞ。

東京都保育人材・保育所支援センター

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3
東京しごとセンター7階
(東京都福祉人材センター内)

TEL. 03-5211-2912

開所時間 | 9:00~20:00 (土曜は17:00まで)
休業日 | 日・祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

保育人材コーディネーターの専門相談
月~金曜 9:00~17:30
(受付は17:00まで) / (祝日、年末年始除く)

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai/hoiku/>

 @hoikuma

